リフ・ラフ（1991）

RIFF-RAFF

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 イギリス
色彩 Color
時間 94分
初公開日 1993/12/25
公開情報 シネカノン

【解説】

’６８年の「夜空に星のあるように」以来、なんと２５年ぶりの日本公開となったＫ・ローチ作品。その間にも“ＫＥＳＳ”（「少年と鷹」の題でＴＶ放映、後に「ケス」として劇場公開）、“ＬＯＯＫ ＡＮＤ　ＳＭＩＬＥ”などの戦後英国映画を代表する傑作を放っていた彼なのだが、それらは日本では特殊な形で公開されただけである。政治的には左派であり、映画にもその芯ははっきり感じられるが、教条臭い所は皆無。透明な眼差しと深いユーモアで市井の人々の日常を描くのが彼の作風であり、下層民を軽蔑して言う題名からもまさに、そのアイロニーは伝わる。

グラスゴー出身のスティーブ（Ｒ・カーライル）は刑務所を出て、ロンドンの建設現場に職を見つけるが、そこは全くの掃きだめ。賃金は安く、労働条件は最低だった。ある日、拾ったバッグを届けたことから知り合った歌手志望のスーザン（Ｅ・マッコート）と一緒に暮らし始めた彼。ケンカばかりの不器用な愛し方しかできない二人だったが、いつしか堅い絆を育んでいた。そんな時、スティーブに捜索願いが出ていることが分かった。彼の母親が亡くなったのだ……。

働く者同士の暖かい連帯がそこはかとなく、若くふらつきがちの二人の愛を支えるさまが微笑ましく語られる。ローチ流リアリズムがそこにあるのだ。’９１年カンヌ国際批評家賞他受賞。

【クレジット】

監督	ケン・ローチ	Ken Loach
製作	サリー・ヒビン	Sally Hibbin
脚本	ビル・ジェシー	
撮影	バリー・アクロイド	Barry Ackroyd
音楽	スチュワート・コープランド	Stewart Copeland
出演	ロバート・カーライル	Robert Carlyle
	エマー・マッコート	Emer McCourt
	リッキー・トムリンソン	Ricky Tomlinson

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.